

(第 85 号)

教育の目的 教育は人格の完成を目指し平和的な国家及び社会の形成者として真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的・精神的に充ちた心身ともに健 康な国民の育成を期して行わなければならぬい。  
(教育基本法)

## The School Health (No. 85)

# 学校保健

財団法人 日本学校保健会会報

昭和46年1月1日 発行  
(隔月発行)  
発行 日本学校保健会  
可児 重一  
東京都港区芝西久保  
明舟町10  
電話 (501) 3785  
振替口座東京 98761  
頒価1部35円(送料共)

学校保健の指向

全国大会の文部大臣のあいさつから

新春をお祝い申しあげ、学校保健の一層の進展を祈ります。

～いるので、次にその重要な部分としては、学校保健の重要性にかんがみ、従来から学校保健の管理体制を強化し、健康診断の充実や、学校環境衛生の改善を進めるとともに、交通安全をはじめとする学校安全の推進に努め、種々の施策を進めてまいりました。しかし、近年社会経済の急速な発展により、児童生徒の生活や環境に大きな変化が生じております。国民所得の増加とともに、生活水準が著しく向上した生活様式も変化いたしました。産業の都市集中によつて、都市農村の姿が大きく変り、いわゆる過密過疎の現象が生じています。ま

を原文のまま掲載することとした。～  
た自動車交通の急激な発達にともなつて、いつでもたらされた交通環境の悪化は憂慮すべきものがあります。  
このような状況にあることを考えますとき、わたくしどもは学校保健、および学校安全の在り方について、常に研究し検討を加えて、実態に即した施策をとることに努めるとともに、将来の動向を勘案した施策を進める必要があると思ひます。  
このため一昨年来、保健体育審議会に児童生徒の健康の保持増進に関する基本的な施策について諮問し、学校における保健管理体制の確立、健康診断の項目および方法の技術的

化は著しいものがあります。本年  
数県で発生しました集団登校中の児童の交通事故の例が示すように、こどもの通学路の実態も憂慮すべきものがあり、このための交通規制の強化などの措置がとられることとなるよう、その促進に努める必要が生じております。このような対策は、その他の保健・安全の施策についても同様であります。学校をこえ、地域として推進を図るのでなければ実効をあげることができないものであり、従って、都道府県および市町村の教育委員会が推進の原動となることが強く望まれるのであります。

さらに学校における保健、安全の教育の充実教科については、とくに

◆学校保健用品の推  
する能力を身につけ  
う、その指導の徹底  
たいと存じます。か  
校保健と学校安全の  
接たずさわるかたが  
ら多数参集され、こ  
催されますことは、  
いことであります。  
各位におかれましては  
面する諸問題はむろ  
べき諸問題について  
究され、その成果を  
の運営指導の充実に  
期寄する次第であります。

推薦

化は著しいものがあります。本年  
数県で発生しました集団登校中の児童の交通事故の例が示すように、こ  
どもの通学路の実態も憂慮すべきも  
のがあり、このための交通規制の強  
化などの措置がとられることとなる  
よう、その促進に努める必要が生  
じております。このような対策は、  
その他の保健・安全の施策について  
も同様ですが、学校をこえ、  
地域として推進を図るのでなければ  
実効をあげることができないもので  
あり、従つて、都道府県および市町  
村の教育委員会が推進の原動となる  
ことが強く望まれるのであります。  
さらに学校における保健、安全の  
教育の充実徹底については、とくに  
力を入れてまいりたいと思います。  
文部省におきましては、小学校、  
中学校の学習指導要領の改訂に際し  
健康で安全な生活を営むのに必要な  
習慣や態度を養い、心身の健全な發  
達を図るべきことを明確に示し、心  
身の調和のとれたこどもの育成を学  
校教育の目標として掲げました。  
今後この目標の示すところにそつ  
て、学校における保健、安全の教育  
がいっそう充実強化され、児童生徒  
が自主的に健康で安全な生活を実践す

◆ 本会第1回  
◆ 学校保健用品の推薦

本号内容

基準、学校環境衛生の改善充実の二点について審議をお願いいたしております。また多岐にわたる当面の諸問題については、適時に適切な施策をとるように努めていますが、幸い関係者のご協力により、おおむね順調に進められています。ただこの際とくに関係者の皆さんのご尽力をお願いいたしたいことは、交通安全対策であります。自動車交通量の急激な増大の結果、最近の交通環境の悪化◆評議員会◆秋田大会のアンケート回答◆秋田大会の職域会合◆叙勲・褒章・大臣表彰の受章◆秋田大会運営の努力点と反省◆アジアの国際会議に出席して、第三回全国学校保健協議大会

## 本号内容



## 第20回全国学校保健研究大会

開催県としての努力点と反省

秋田県大会実行委員会 佐藤公

昨秋10月27・28の両日秋田県において、第20回の記念すべき全国学校保健研究大会が開催された。とくに皇太子同妃両殿下のご臨席をいただき、また文部大臣の表彰状受狀者も例年の二倍に及んだ。開催県の秋田県では非常な意氣込みで本大会の準備にあたり、会期を二日間にしほり、開会式、表彰式に続いてシンボジウムをもち、領域別研究では指導助言者の指導講演を行なうなど、多くの新企画を立て、また開会式に五百名の児童による「心に風と太陽を」の合唱を演奏するなど、文字どおり新鮮味のある大会であった。次に開催県の苦心談を紹介することとする。

全関係者のご指導やご援助によつて大過なく終えることができた大会であつたことを思うにつけ、今後の開催県のご難儀が、いくらかでも軽減されるための参考になればといふみたい。

一、研究発表校（研究推進校）の研究主題と大会の研究課題、研究問題、研究の視点との調整について  
昭和43年度から学校保健の研究推進校（約70校）を設置して研究を進めてきたのであるが、学習指導要領の改訂にともない、第20回大会では研究課題、研究問題、研究の視点のうち、小学校、中学校の関係については新学習指導要領の指向する方向で設定することになった。

しかし最終的な決定が3月であつたため研究発表校（推進校）の研究主題との調整にかなりの時間を要した。

二、班別研究協議会、領域別研究協議会について

送付されたものは13程度で提出の督促に無駄な手数がかかり原稿の校正等も甚だしく遅れる結果になつた。

また県段階での原稿の検討がじゅうぶんにされない事例が二七三あつた。

### 五、大会の期日変更について

各種の条件から大会期日の変更やその決定の遅延等で、各都道府県のみならず、職域別の会合等々広範囲に及んだ影響については、その不手ぎわを深く反省させられた。

### 六、輸送について

從来班別研究協議会・領域別研究協議会は一日半の日程で行なわれていたが、第二日目の参加者が少なくなることへの備えもあってこれを一日に短縮し内容的には從来に劣らない成果があがるよう配慮したが、午後になつての参加者のエスケープは例年同様目に余るものがあり、遺憾であった。今後このようなことのないよう全関係者の強い反省が望まれる。

### 三、一般参加者の研究資料の提出について

秋田市の場合、大規模の旅館、ホテル等が少なく、四十八の旅館に宿泊させなければならないことから配宿にかなりの苦心があつた。こうした苦心は苦心として一部不行届きだったサービス等については全く汗顏の至りである。

### 八、大会参加申し込みについて

一般参加者の研究資料が所定の期日までに送付されないため、（前日あるいは当日持参等の事例あり）司会者・指導助言者等への事前配布ができなかつた。また提出された資料の中に領域名班名の記載のないものがあり、その配分等の事務処理の円滑を欠いたことは遺憾であつた。

### 四、研究発表原稿のとりまとめについて

研究発表原稿が所定の期日まで

◆学校（10校）（前ページより）  
秋田県天王町立東湖小学校・福島県西郷村立米小学校・茨城県水戸市立城東小学校・栃木県太田原市立

塚小学校・富山県富山市立柳町小学校・静岡県清水市立清水柴学校・山口県柳井市立柳井小学校・香川県善通寺市立東部小学校・愛媛県重信町立南吉井小学校・佐賀県鹿島市立鹿島小学校

市学校保健会・宮崎県延岡市医師会校部会

◆学校保健地域団体（4団体）  
北海道森町学校歯科医師会・滋賀県東浅井郡学校保健校・鳥取県倉吉市学校保健会・宮崎県延岡市医師会校部会

官城県北方小・秋田県松ヶ崎小・山形県亀城小・福島県清明小・茨城県緑岡小・栃木県中央小・群馬県原小・埼玉県小川小・千葉県長南小・神奈川県新王小・新潟県城西中・富山県大島小・福井県三国北小・長野県芳川小・愛知県大府中・滋賀県彦根高・京都府朱雀一小・大阪府高井田西小・兵庫県社高・奈良県二上小・鳥取県大宮小・島根県原井小・岡山県総社中・広島県長江小・山口県小野田工高・徳島県撫養小・香川県勝間小・高知県佐川小・福岡県高柳小・佐賀県砥川小・熊本県木倉小・大分県北部中・宮崎県大淀小・鹿児島県名山小・石川県金沢市立野町小学校校下交通安全協議会

で学校の受けた被害は大きかつた

十、その他について  
大会参加申し込みと、職域部会の参加申し込みを、混同していたが、申し込み期日が守られなかつたことから配布資料等準備の点難を感じた。

# White & White

白い歯 かがやく歯のためにホワイト・ホワイト

新歯磨

105g 120円



《健康と美のファミリー製品メーカー》ライオン歯磨



秋田県における

### 第3回 全国学校保健協議大会

報告

秋田大会開会式当日午後、本会と  
秋田県学校保健会共催で、第3回協  
議大会が開催された。

議長団は次のとおりである。

秋田県学校保健会長藤原慶一郎氏  
鹿児島県 同 花牟礼淳二郎氏  
岡山県 同 本城 明朗氏

協議題は七題であったが、詳細は  
次号に掲載することとする。

開会へき頭、前年の協議大会の議  
長団を代表して、花牟礼淳二郎氏か  
ら、第2回協議大会の協議事項に関  
する事後処理について、次のような  
報告があつた。

前回の協議大会の協議事項につい  
て、議長団で協議し、九項にわたる  
要望書を作り、3月16日付で文部大  
臣に提出した。この要望書について  
省の意見であつて、もつとも現時点  
に近いものであるから、その全文を  
掲載することとする。

#### 要望事項及び文部省回答

一、学校における健康診断の充実・  
改善を望む。

(1) 児童生徒の健康診断の検査項  
目の改正と検査の合理化を図ること。

(2) 心臓や尿の検査等精密検査の  
実施など健康診断の近代化と公  
費負担の促進を図ること。

(3) 学校医の専門化を促進し無專  
門医地区における保健管理のた  
め

回答 (1) および(2)の問題については  
現在、保健体育審議会においてご検  
討中であり、心臓、腎臓検査につい  
ても検査項目とされる方向で審議さ  
れている。

将来、このような新しい健康診断  
のあり方がとられることになれば、  
国の財政的裏付けも行なわれること  
となると思われる。

二、学校環境衛生の基準の法制化を  
図りそれに要する経費を予算化さ  
れたい。

回答 学校環境衛生についても現在  
保健体育審議会において審議されて  
いるところであるが、環境衛生基準  
は、その内容が極めて多岐にわたっ  
ており、また、現在の学校の実態か  
らみてその定着を図るためにには、な  
お、相当の時日および財政的支出を  
要するものと思われる。

このような点を考えると、直ちに  
法制化するよりも、まず環境衛生の  
充実強化、換言すれば基準の定着化  
を行わせるべきではないかと思わ  
れる。

三、養護教諭を各学校に必置する

回答 とともに養成機関の充実を望む。

回答 養護教諭の必置は望ましいこ  
とであるが、養護教諭の資格者が不  
足しているので、昭和四十四年度か  
ら第三次五年計画で計画的に配置充  
足していく。

足についている。

なお、養護教諭の格差是正につい  
ては今後も努力をする。

回答 現在の学校保健法の建前は、  
学校病を中心に予防対策を実施する

四、学校における保健主事の身分の確立を図らたい。

回答 身分については学校教育法施行規則に明示してあるが、さらに確立の必要があれば検討したい。

職務上の問題については、保健体育審議会において検討中である。な

お、一般教員の学校保健活動への積極的な参加が、保健主事の職務軽減につながるので、昭和四十五年度から五年計画で、小学校全教員を対象に保健関係の資質向上講習会を開催するなどの施策も行なっている。

五、学校医等の定数増と報酬の適正化を図られた。

回答 学校医等の報酬については、昭和四十五年度交付税額を、学校医については三〇、〇〇〇円を三五、〇〇〇円に、学校薬剤師については一五、〇〇〇円を二〇、〇〇〇円に増額し、また、専門医一名分を増とした。

六、教職員の精神疾患について結婚

と同様に取扱われるよう教育公務員特例法第十四条の改正を要望する。

回答 教職員だけでなく、公務員全

体の問題として検討する必要がある

回答 人事院において、国としての調査研究が進められていると聞いています。

回答 何らかのものが得られたならば参考として出したい。

回答 学校保健の推進については、

九、学校保健に関する自主団体を積極的に育成されたい。

回答 学校保健会や三師会その他各種の自

主団体の力によって今日の発展をみ

てきたものである。

回答 したがって、文部省においても今

後、これらの自主団体の育成につい

て機会をとらえて力を貸すようにし

て対策を努めたい。

回答 また、学校保健会、学校医会、学

校歯科医会、学校薬剤師会等、関係

団体の協力と組織活動の促進によっ

て対策を努めたい。

八、離島へき地の学校病対策につい

て積極的な国際援助を望む。

回答 来年度の学校保健予算として用ユニックトを要求した。関係都道府県においては、この事業に絶大な協力をされたい。

回答 また、学校保健会、学校医会、学

校歯科医会、学校薬剤師会等、関係

団体の協力と組織活動の促進によっ

て対策を努めたい。

# 職域大会

## 二ユース

第13回全国学校保健主事研究協議会(総会)

期日 10月26日

会場 県立秋田児童会館

◆運営委員会(理事評議員合同会)

午後一時開会、約40名出席

当番県秋田の田中会長、全国学校

保健主事部会竹村理事長のあいさつ

について、秋田県の大野、泉、佐藤三氏を議長団に選出して、議事に入れる。

議事

①昭和44年度事業(鹿児島大会)及び決算報告(収入七六一九〇円、支

出六二三九五円差引次年度繰越一三

七九五円)が承認監査報告も承認。

②昭和45年度事業(秋田大会)及び予算審議(収入六五七九五円支出六

五七九五円差引残なし)

③役員選出会長に本年当番県秋田の

田中会長、副会長に前年度当番県鹿

児島県の加賀会長と来年開催県の岡

山県浅野会長が選出される。身分上

から竹村理事長の辞任が認められ、

後任は東京都より選出することとし

て京都に入選を一任する。

④各県提出議題の審議、東京都提出

の「北九州市を入れ六大城市にする件」

は北九州市の意向を確めた上で善処

する。規約改正は次年度とする。

秋田県提出の「創設以来功労のあ

った竹村理事長に感謝状贈呈の件」

は、次年度の岡山大会で贈呈に決定する。

◆第13回研究協議会

午後2時開会、参加者約500名

田中会長、竹村理事長のあいさつ、

学校栄養士五名が日本医師会から

日本医師会から

## 第20回全国学校薬剤師大会

日時 10月26日 13・30-17・30

会場 羽後銀行本店 大会議室

主催 日本学校薬剤師会・秋田県  
薬剤師会学校薬剤師部会

標題「近代社会を明るくたくましく生きぬく強いからだと美しい心の育成を目指して」

目標「学校薬剤師の組織の強化確立、学術の向上と交流を通じて学校保健の振興に寄与する」

一、開会式（出席者約二五〇名）

厚生大臣、県知事、県教育長、日本薬剤師会関係3名の祝辞があり、日本学校薬剤師会長永山芳男氏は、昭和5年学校薬剤師誕生の歴史と、大会20年間の歩みを述べ、学校薬剤師の今後果すべき役割を説いて、会員の意を鼓舞された。

二、表彰式

業績貢献者10氏に日本学校薬剤師会長からの表彰状、学校薬剤師制度普及功労者61氏に感謝状が贈られ、全国学校保健大会での文部大臣表彰状受狀者16氏が紹介された。

## 三、研究協議

## 研究協議題目

○福島市における飲料水の二、三の考察 小野 寿実（福島県）

○平木 阳一（群馬県）

○学校机、いすの実測調査について 能登屋晶三郎（秋田県）

○食器保管庫の問題点 発表後質疑応答があり、特にブル消毒について白熱した討議が行われ、消毒に使用されているイソシアヌール酸の殺菌力の問題点と、さら

(4面より) 彼は教育大の教授でもある、それにコンサルタントのセイロン大学教授の三人だけ。人種的にほとんどがアジア人である。

でも、国際機関からの列席者には白人もいて、アメリカ、スウェーデン、イギリス、ニュージーランドの国籍を持つ人たちがそれぞれ一人づつである。

肌の色が黄、褐、黒、白と違い、またことばもまるきり通じ合わないことをいうことになる。ところがこのうちの混成の同じ釜の飯組である。英語がまたなかなか大変なのだ。アジアの国の多くは、欧米諸国の支配下に置かれた歴史を持つ。そのため支配された国ぐにの言葉の影響と、それぞれの国本来のことばのナマリがまざり、フランス風、ドイツ風の英語といったものが飛び交うことになる。英語のものからして、イギリス語とアメリカ語の違いも時には気に入る。

こうした人種とことばの相異といふ壁を越えて、同じ釜の飯を食い合ううちに、いつしかたとえようもないホンワカとした親愛感と友情が芽生えてくるのだから不思議なものである。

ある。国際会議の意義は、その会議そのものにあることはもちろんあるが、会議場を離れた日常生活の場での交歓にあるといわれるのも、これはたしかに真実である。

会議期間も半ばをすぎると、馴れ親が、症状を一層のらせる。ノイローゼ、発熱、下痢、腹痛、神経痛、感冒、栄養失調などの形で現われてくる。こうした場合に頼られるのはドクターである筆者と台湾の李先生である。めいめいがクライエントの応待をしていたのではたまらぬといふことだ。筆者の部屋に臨時診療所を設け、二人で手わけして夕食後のときを診察と相談と投薬にあてることにした。忙がしい思いをしたが、医療を通じての国際親善を、果しえたことは嬉しい思い出である。

十月七日の午前十時、さまざまの想いをこめて会議の幕はおりた。閉会後会場を去りがたく、参会者のすべてはそれぞれに握手を交わし、変わらぬ友情を誓い合った光景は、今でも懐しく切なく胸に浮んでくるのである。

## 四、特別講演

## 演題「玉川水質調査について

講師 秋田県衛生科学研究所 理化学科長 斎藤ミキ氏

遠く40年前からの先輩の遺業の集積した本大会が秋田県で開催された意義は極めて大きく、特に地域活動について得るところ大であった。

大会終了後、秋田第一ホテルに会場を移し、懇親会が開かれた。

# 頭痛・歯痛 生理痛に

## セデス錠 シオノギ製薬

一度に  
**4種類の尿検査ができる!**

尿のpH・糖・蛋白・潜血に対する  
"Dip and Read"方式試験紙

**ヘマコンビステイックス**

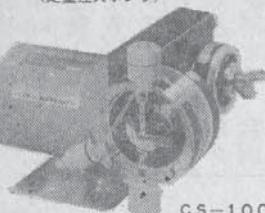
販売元 三共株式会社

製造元 AMES Co., Inc.

**Nフィーダー**

塩素滅菌機として始めて日本学校保健会推薦品となりました

(定量注入ポンプ)



定量性・耐久性ともすぐれ保守管

理はだれにでも容易にできます。

学校の水泳プール・飲水の塩素減

菌にご利用下さい。

**日本フィーダー工業株式会社**

大阪事業本部 大阪市西区土佐堀町23 大阪商工ビル TEL (06) 441-5181  
東京支店 東京都板橋区赤坂新町2丁目6番3号 TEL (03) 930-8016  
本社・工場 兵庫県朝来郡生野町1999 TEL (0796) 699-331

